

令和4年度全国学力・学習状況調査結果 府中市立府中第八中学校

【調査の概要】 調査日時：令和4年4月19日（火）、調査対象：中学校第3学年、調査方式：悉皆調査
 調査事項：生徒に対する調査（ア：教科に関する調査〈国語、数学、理科〉・イ：質問紙調査）

学力調査の結果

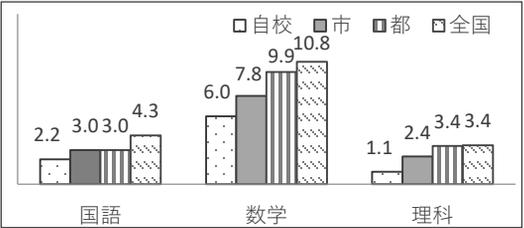
1 平均正答率(%)及び中央値(問)

中央値とは、統計的な指標の一つで、一人一人の正答数を大きい順に並べたときの、全体の中央に位置する値のことです。

	国語(14問)		数学(14問)		理科(21問)	
	平均正答率(%)	中央値(問)	平均正答率(%)	中央値(問)	平均正答率(%)	中央値(問)
自校	74	11.0	59	8.0	55	12.0
府中市	72	11.0	58	8.0	53	11.0
東京都	70	10.0	54	8.0	51	11.0
全国	69.0	10.0	51.4	7.0	49.3	10.0

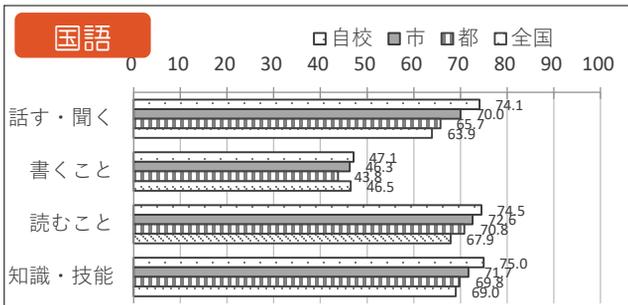
調査結果は、生徒が「どのような力を伸ばしているか」、「どのような力を十分伸ばせていないか」という具体的な成果と課題に着目し、生徒への教育指導の充実や学習状況の改善、授業改善に役立っています。

2 各教科の無解答率(%) (全設問の無解答率の平均値)



○平均正答率については、国語・数学・理科とも、全国・東京都を上回りました。
 ○中央値については、数学では、全国を上回り、東京都と同じでした。国語・理科では、全国・東京都を上回りました。

3 学習指導要領の領域別正答率(%)

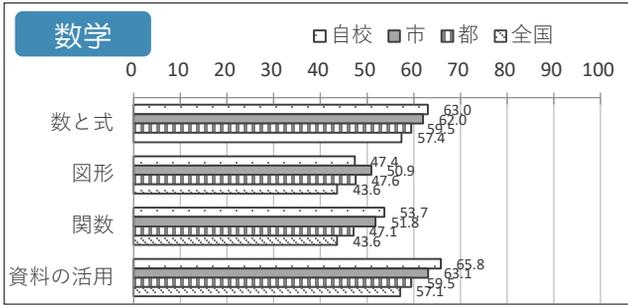


4 成果や課題があった主な設問

国語

○1三：スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く
 正答率 自校 64.4% 都 53.9% 全国 51.7%

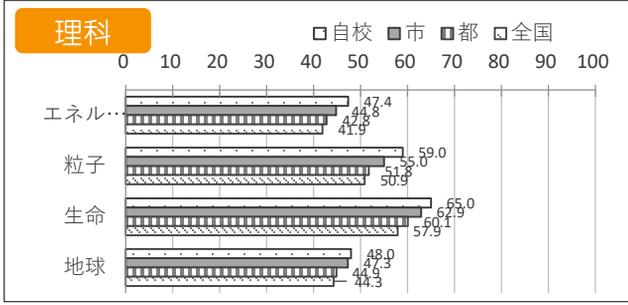
△3一：表現の技法の名称を書き、同じ表現の技法が使われているものを選択する話合いを踏まえ、自分の考えを書く
 正答率 自校 49.8% 都 55.1% 全国 52.5%



数学

○8(2)：目標の300kgを達成するまでの日数を求める方法を説明する
 正答率 自校 49.1% 都 42.0% 全国 38.4%

△1：42を素因数分解する
 正答率 自校 43.8% 都 47.6% 全国 52.2%



理科

○8(1)：ア리가視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を基に、課題に正対した考察を記述する
 正答率 自校 67.0% 都 58.5% 全国 55.2%

△6(1)：玄武岩の露頭で化石の観察が可能か判断し、その理由を選択する
 正答率 自校 46.1% 都 46.8% 全国 48.0%

5 学力調査の結果についての成果と課題

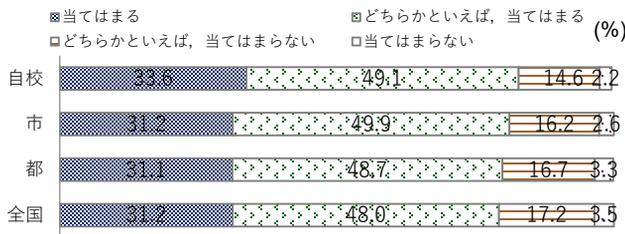
○成果
 各教科とも、複数の資料から客観性や信頼性を確認しながら、考えの根拠を明らかになるような情報を引用して解答を導いている。

△課題
 事象の特徴を的確に捉え、筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することに関して課題が見られる。

質問紙調査の結果

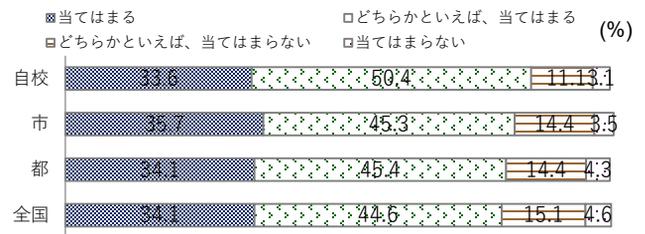
主体的・対話的で深い学びの視点から

【39】1,2年までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



授業で、問題解決に向けて主体的に取り組む生徒の平均正答率は、高い傾向にあります。

【43】学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか



話し合い活動を通じて自らの考えを深めたり、広げたりする生徒の平均正答率は、高い傾向にあります。

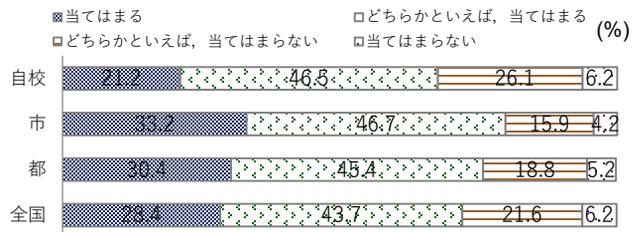
思考力・判断力・表現力の育成の視点から

【40】1,2年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



考えがうまく伝わるように工夫して発表している生徒の平均正答率は、高い傾向にあります。

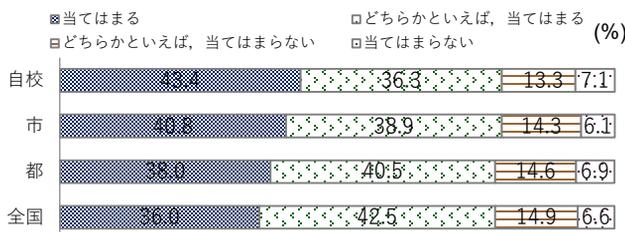
【45】総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



自ら課題を立て、進んで探究的な学習に取り組む生徒の平均正答率は、高い傾向にあります。

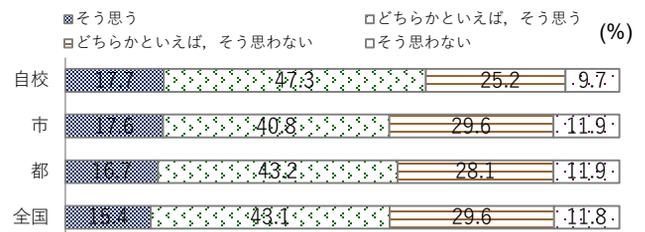
自己有用感、家庭学習、地域・社会との関わりの視点から

【7】自分には、よいところがあると思いますか



自分にはよいところがあると思う生徒の平均正答率は、高い傾向にあります。

【20】家で自分で計画を立てて勉強をしている



家で自分で計画を立てて勉強をしている生徒の平均正答率は、高い傾向にあります。

【26】読書は好きですか



読書が好きと回答している生徒の平均正答率は、高い傾向にあります。

今後の取組について

〈学校での取組〉

課題解決に向け、自分で考え、自分から取り組む学習活動を展開していき、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立て方を工夫するような授業づくりを行っていきます。

〈家庭での取組についてのお願い〉

1日当たりのSNSや動画視聴などを行う時間が長いほど、各教科の正答率が低い傾向にあります。各御家庭でスマートフォン等の使用方法に関するルールの再確認をお願いします。